

31日に全日本軟式野球大会初戦 岐阜信金「8強目指す」



全国大会での活躍を誓う岐阜信用金庫の選手ら
＝岐阜新聞本社

31日から岡山県で開催される天皇杯第75回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメントに出場する岐阜信用金庫の選手らが、岐阜新

聞本社を訪れ「ベスト8を目指したい」と大会への意気込みを語った。来社したのは石田純一監督(41)と有我友佑主将

(33)、大橋敏行(29)、岩越翔平(28)、春日井健太(28)の各選手。

同金庫は県大会で2年ぶり7度目の優勝を果たし、全国切符をつかんだ。新型コロナウイルスの影響で今年、出場する唯一の全国規模の大会。石田監督は「野球ができることに感謝の気持ちを持って、地元に明るい話題を提供したい」と話した。

31日に京都府代表の佐川印刷と対戦する。有我主将は「強豪が相手で初戦がすごく大事。若手の勢いとベテランの経験をつまみ融合させて突破したい」と力を込めた。(野田祐治)